

2023年ヒューストン日本語補習校 第51回卒園・卒業・修了式



岡林校長

3月18日、令和4年度 第51回卒園・卒業・修了証書授与式がヒューストン日本語補習校にて執り行われました。昨年は卒業生のみでの対面開催でしたが、今年はコロナ前の様式に戻り、在校生も参加しての開催となりました。

第一部の卒園証書授与式には、幼稚部卒園生61名が参加しました。自分の名前を呼ばれると大きな声で返事をして堂々と卒園証書を受け取る姿に、子供たちの成長を感じざるを得ません。最後は全員でステージに並んで“さよならぼくたちの幼稚園”を元気に歌いました。

第二部では、高等部4名が修了証書を、小学部34名・中学部16名が卒業証書を受け取りました。岡林校長先生からは、「これから新たな偶有性に立ち向かうことになると思うが、ピンチに見えるときこそ人間が一番成長できる。あきらめず立ち向かい自分自身の人間力をさらに磨いてほしい」と激励の言葉があり、来賓の佐川首席領事からは、「海外での生活は苦勞も多いが今後の人生を豊かに



してくれる貴重なもの」として、現地校と補習校の両立を成し遂げたことへのねぎらいの言葉がありました。

高等部代表の福永悠道さんは13年間の補習校生活を振り返り、友達の支えや先生方の助けに対する感謝の言葉とともに、苦楽を共にした4人だからこそ分かち合える思い出について語りました。「将来が分からないと不安に思うのではなく、未来には可能性が溢れていると信じてワクワクドキドキしながら卒業します！」という言葉は本当に頼もしく、決意に満ち溢れていました。偶有性とはまさに可能性、みなさんの大きな可能性を信じています。

式典の最後は“仰げば尊し”の斉唱。卒業生によるバイオリンとチェロの生演奏とともに会場の出席者の心に染み入りました。

♪～仰げば尊し 我が師の恩 教の庭にも はや幾年
思えばいと疾し この年月 今こそ別れめ いざさらば♪

卒園生・卒業生・修了生のみなさん、本当におめでとうございました。

(運営委員 桐山善吉)



卒園証書を受け取る卒園生



高等部修了生代表



弦楽器の伴奏による卒業生の歌
「仰げば尊し」斉唱



中学部卒業生代表



小学部卒業生代表

他団体便り

第33回テキサス州 日本語スピーチコンテスト



2023年テキサス州日本語スピーチコンテスト(以下、大会)が3月11日土曜日、在ヒューストン日本国総領事館及びヒューストン日米協会の共催により3年ぶりに対面で開催されました。各地区大会上位入賞者総数32名に加えオープン部門参加者2名を含めた34名、さらにボランティアの方々、各日本人団体を代表する審査員、ゲストを含む総数57名が一同にライス大学ハズパースホールに参集しました。

大会は佐川首席領事によるご挨拶と応援メッセージで始まり、発表は前半の高校スピーチ全米オーロラ大会出場者選考部門、課題詩部門、そして後半のオープン部門、俳句部門、大学部門と続きました。

スピーチの内容は家族とのふれあいや自分の体験から学んだこと、日本語の学習や日本のアニメを通して見つけた将来の夢や生きがい、海外ボランティアの経験から広い視野で世界を理解することの大切さ、日本語の女性語、男性語について、いじめの体験等、対面で行うスピーチには伝わってくるメッセージにも熱意が感じとれました。スピーチ後の口頭質問では笑いも生じ聴衆との一体感も共有できました。

全発表終了後、結果発表までの休憩ではヒューストン市内で和菓子作りを営む「おやつaoi」さんが和菓子の特色やその歴史、和菓子と季節との関わり、日常の和菓子、特別な日の和菓子についてプレゼンテーションをして下さいました。日本語を学ぶ学習者には興味深い「食」に関するテーマで貴重な体

▲審査員の根本委員長
(商工会)

験になりました。大会で学習者が交流し合い、日本語学習の更なる向上を目指し、そして日本文化の側面に実際に触れながら日本について理解を深めることも大会目的の一つです。

対面での大会開催には各支援団体からの多大なるご支援とご協力を頂きました。本大会が無事に、そして成功裏に終了できたのは偏に在ヒューストン各団体からのご協力とご支援、ボランティアの皆様の協力の賜物であり、心よりお礼申し上げます。

大会授賞式は、在ヒューストン日本国総領事館、ヒューストン日本商工会、グレーターヒューストン日本人会、ヒューストン日米協会、テキサス州日本語教師会を含む支援団体代表の方々のご出席のもと、全部門参加者に参加証書、各部門上位入賞者には賞状と、各団体が支援する部門の賞金や副賞が授与されました。課題詩部門の上位入賞者にテキサス州日本語教師会から記念品が、俳句部門の上位入賞者にヒューストン日本商工会から記念品が、高校スピーチ全米オーロラ部門上位入賞者にグレーターヒューストン日本人会から奨学金合計1000ドルが、大学スピーチ部門上位入賞者にヒューストン日米協会から奨学金合計1500ドルが、紀伊国屋書店からオープン部門上位入賞者に記念品が、其々授与されました。各団体を代表し審査員をお引き受け下さった皆様のご協力に深く感謝を申し上げます。そして今後とも引き続きご支援、ご協力を賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。以下入賞者の方々には今後も継続して日本語と日本文化を学習し、日米両国の架け橋となり日米文化の交流と相互理解に尽力されるよう心より祈念いたします。また入賞された生徒学生のご家族、日本語教育に携わる教師の方々日々の努力に感謝すると共にその努力の成果に心からお喜び申し上げます。おめでとうございます。(佐藤裕子(ライス大学) ヒューストン日米協会スピーチコンテスト実行委員会)

▲佐川首席領事

大会入賞者発表は[こちら](#)

